

## 通期の見通し

平成 22 年度の販売電力量については、第 2 四半期までの実績を踏まえ、本年 7 月にお示した想定値（2,880 億 kWh）を上回る 2,960 億 kWh を見込んでおります。

これにより、売上高は、前回公表した想定値（連結：5 兆 2,900 億円程度、単独：5 兆 700 億円程度）を、連結で 5 兆 3,850 億円程度、単独で 5 兆 1,650 億円程度に変更いたしました。

一方、費用面では、電気事業において、電力需要の増加などにより燃料費の増加が見込まれます。

これらにより、経常利益は連結で 1,900 億円程度、単独で 1,600 億円程度、当期純利益は連結で 800 億円程度、単独で 650 億円程度に変更いたしました。

### <連結>

売上高	5 兆 3,850 億円程度（前回発表予想：5 兆 2,900 億円程度）
経常利益	1,900 億円程度（前回発表予想：1,700 億円程度）
当期純利益	800 億円程度（前回発表予想：650 億円程度）

### <単独>

売上高	5 兆 1,650 億円程度（前回発表予想：5 兆 700 億円程度）
経常利益	1,600 億円程度（前回発表予想：1,500 億円程度）
当期純利益	650 億円程度（前回発表予想：550 億円程度）

(注) 経常利益と当期純利益については、柏崎刈羽原子力発電所の全 7 基のうち、1 号機・6 号機・7 号機の運転計画を織り込み算定しております。